

基本計画 （政策 7）

基本計画（政策 7）

① 施策 7-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 1】 成果指標の算出方法は。	
当日質問・意見		
回答	市民アンケートにおける施策満足度を、満足：5、やや満足：4、ふつう：3、やや不満：2、不満：1として算定する加重平均方式。	
審議	あり	
委員	計画期間 8 年間を通じ、現状値から 0.1pt のみの向上にとどまっている。もう少し高い目標を目指してほしい。	
市	第 6 次総合計画の前期計画期間は 3.08 からスタートし、コロナ禍が生じたことにより最終値は 3.01 であった。また、後期計画期間は 3.08 からスタートし、現在 3.10 まで改善してきている。コロナ禍のように様々な社会情勢に指標が左右される中、現在も物価高騰等の状況が発生する中で、少なくとも普通の 3pt はクリアしたうえで、現状値から少しでも向上させたいとの思いで指標を設定している。	
委員長	少しでも向上するよう努力して欲しい。	
取り扱い	☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☒ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない	
文言	全施策の市民満足度平均について現行の目標値以上の向上が図られるよう、全ての施策において不断の努力がなされることを期待するとともに、それを可能とする効率的で効果的な市政運営に努めていただきたい。	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
事務局		
主管課		

② 基本事業 7-1 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 2】 「※ 1」の掲載が見当たらない。説明を求める。	
当日質問・意見		
回答	成果指標の取得時期が遅く、素案の提示次期に間に合わなかったことによるもの。現状値 61.7%、目標値 75.0%。	
審議	なし	
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
文言		
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
事務局		
主管課		

基本計画（政策 7）

③ 基本事業 7-1-2 の成果指標「デジタル実装による年間削減効果」について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 3】 デジタル実装による年間削減効率が R16 までに大幅に増大するが、その分職員数の削減を行うのか。削減された時間は、市民満足度向上のために人でなければできない業務に再配分すべきである。
当日質問・意見	
回答	委員意見のとおり、デジタル化により生み出される時間は人でしか担えない領域に再配分することになると考えている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

④ 基本事業 7-1-5 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 4】 若年層有配偶率の目標値を現状値と同じとしているのは何故か。
当日質問・意見	
回答	社会・経済情勢の変化と価値観の多様化等に伴い、若年層有配偶率が減少傾向にある中、減少に歯止めをかけ、現状の数字を維持することを目指し目標値の設定を行っている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策 7）

⑤ 基本事業 7-1-5 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 5】 個人の結婚に関する選択を尊重する観点から、有配偶率を行政施策の成果指標とすることが適切か。また、現状値と目標値が同値であり、家族生成の支援の成否にかかる判断をどう行うのか。結婚に係る考え方や家族の形が多様化する中で、現行の指標が適切か。
当日質問・意見	
回答	価値観の多様化をふまえ、本施策においては「家族を持ちたいと希望しながらも様々な理由でそれが叶っていない方々」を応援し、後押しすることを目的としている。成果指標については、継続的かつ現実的に取得可能な数値を設定している。
審議	あり
委員	昨今の時世において、現行案で使用されている言葉を用いることが適切か、他の委員の意見も聞きたい。若年者有配偶率の指標は、婚姻届を提出している者の数のみで測るということでもいいのか、また、そもそもこれを目指すこととしてよいのかということについて伺いたい。
委員	様々な選択肢がある時代である。一方で、婚姻届が出されないパターンは把握の仕様がいないのではないか。
委員	把握の仕様がいないということについては理解する。そもそも、この成果指標を計画に盛り込む必要があるのか。
市	第六次総合計画では「家族形成の支援」という基本事業があり、その説明の中では「結婚の希望を持つ人の支援」といった表現をしていた。市としても、家族にはいろいろな形があるという認識を踏まえ、今回、「家族を持ちたい人の支援」という表現に改めている。ただし、それを表現するための指標については、現実的・継続的に把握可能なものとする観点から現行案のとおりとしている。あくまでめざす姿の達成状況を測る指標の一つとしてご認識いただきたいが、委員の皆様からの意見があれば是非伺いたい。
委員長	そもそもこの指標を盛り込むべきかどうかということについても意見があれば発言願いたい。
委員	（発言無し）
委員	このような表現にかなり得ないということについても理解するが、この表現のままで盛り込むかどうかということについては引っかかっていた。ただ、市の持続可能性の観点から家族形成の支援が本当に必要な指針ということであればやむをえないとも思う。審議会で何も触れられることなく素通りすることはどうかと考えていた。
委員長	めざす姿の記載は、多様な家族の形に配慮したものとなっている。
事務局	ただ今の議論の中で、市からは指標設定上の限界に関する意見が出され、委員からは運用上必要とされる配慮に関する意見が出されたと理解する。多様な受け取り方をされる指標であるということを踏まえ、運営上の配慮について答申をいただくということも考えられる。
委員	個人的にはそのような配慮を求めた方がよいと考える。
委員	受け止めようによっては産めよ増やせよではないが、市がプレッシャーをかけ

基本計画（政策 7）

		ていると感じる若い世代もいるのではないかと感じたところである。
	委員長	答申に掲載するという事でよい。
	委員	（同意の声）
取り扱い		☒ 答申書に掲載する／ ☐ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☒ 取り組みを求める／ ☐ 特に何も求めない
	文言	基本事業「家族形成の支援」の推進にあたっては、個人の意向や多様性に十分配慮するとの説明があったが、多様な受け取り方をされる可能性が考えられることから、事業運営にあたっては特段の配慮に努めていただきたい。
市対応		☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
	事務局	
	主管課	

⑥ 基本事業 7-2-1 の成果指標について

事前質問		【回答票（政策 7）番号 6】 現状値が 0% に対し、目標値が 100% 以下と差がありすぎる。適切な指標設定となっているのか判断できない。
当日質問・意見		
	回答	財政健全化法に規定される基準に基づき設定するもの。庁舎建設に伴う財政負担のほか、老朽化するインフラの更新負担等も加味し、目標値を設定している。現行案の目標値の半分であれば問題ないといった判断をするものではなく、一定の水準以下に抑える財政運営を行うことを目標としている。
審議		なし
取り扱い		☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
	文言	
市対応		☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
	事務局	
	主管課	

基本計画（政策 7）

⑦ 施策 7-3 の取組の方向性について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 7】 限られた経営資源を最大限に活かす機動的な「組織づくり」と記述されているが、部局横断的な組織運営についての記述が無い。部局横断的なプロジェクトチームや政策形成の仕組みを明記できないか。	
当日質問・意見		
	回答	既に部局横断型のプロジェクトチームや連携の仕組みを実際の体制として取り入れ、対応を進めている。この運用をより一層徹底し、行政サービスを提供していきたい。
審議	あり	
	市	近年の具体例を申し上げれば、選挙の際の従事体制やコロナ禍及び物価高騰への対策における給付金の支給事務ほか各種支援事業の実施、ふるさと納税の寄付額増加のための取り組み、重層的な支援体制に関する取り組みなどで、部局横断型の組織運営を行ったところである。
	委員	計画書中に具体例の記述があればもっとわかりやすくなるのではないか。
	市	具体例の記述も検討したが、できるだけシンプルに作成するという計画の策定方針もあったことから現行案のとおり記述としている。
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
	文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
	事務局	
	主管課	

⑧ 基本事業 7-3-1 の成果指標「類似団体の職員数の平均値に対する職員数の割合」について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 8】 職員数の妥当性については、残業時間数や有休消化率、職員の継続率やメンタルヘルス不調者の出現割合など、様々な観点での検証のもと判断すべきであり、職員数を少なくすること自体を行政経営上の成果と評価すべきかについては慎重であるべきである。	
当日質問・意見		
	回答	最小の費用で最大の効果を上げるという効率性の基本原則を念頭に置きつつも、職員数そのものを単に少なくすること自体を目的化・成果として評価することについては慎重さを持ち、持続可能で適正な人員配置に努めていく。
審議	なし	
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない	
	文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要	
	事務局	

主管課	
-----	--

⑨ 基本事業 7-3-2 の成果指標について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 9】 どちらの指標も「〇〇と思う職員の割合」という表現だが、「思わない」職員が一定残る状態を目標としてよいのか。また、「思わない」職員の割合の低下を目指す表現とすべきではないか。
当日質問・意見	
回答	「思わない」とされる職員が一定数残る状態を目標として良しとするものではなく、アンケートの個別分析を通じ、「思う」職員の割合向上のための不断の改善を図ることが重要と認識している。職員個々の意識や感度、捉え方の違い等も踏まえ、総合的な判断のもと目標値設定を行っている。「能力向上」には職員の自己研鑽の要素もあり、一概に 100%を目指す性質のものではないが、「思わない」と考える職員がなぜそう感じているのかの分析及び対策に努め組織の改善を図っていききたい。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

⑩ 施策 7-3 について

事前質問	【回答票（政策 7）番号 11】 市民から「信頼される」職員・組織づくりを推進するためには、「効率化によって何を減らすか」だけでなく、「行政内部や市民とのつながりをどう維持・強化するか」という視点を入れる必要があるのではないか。
当日質問・意見	
回答	効率化や人づくり、組織の機能強化を通じて職員一人一人の意識やスキルが高まり、部局間の連携が円滑になることが、結果的に市民との信頼関係を維持・強化するための原動力になるものと考えている。
審議	なし
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

基本計画（政策 7）

⑪ 施策 7-2 の成果指標「実質公債費比率」について

事前質問	なし
当日質問・意見	現状値 8%に対し、再建団体ギリギリの水準である 15%を目標値としていることについて、目標値は現状値と比較し少なく設定するのが一般的と考えるが、庁舎建設等の影響を踏まえた目標値設定としているのか。
回答	再建団体となる水準はもう少し高い（早期健全化基準：25%、財政再生基準：35%）。この数値が 18%を超えると起債措置の際に国の許可が必要となる。庁舎建設を始め、その他、老朽化しているインフラの更新等の財源としての起債措置が必要であり、比率の上昇が否めない状況がある中での目標値設定としている。数値の悪化を是とするものではなく、現実を踏まえたうえでの目標値として理解いただきたい。
審議	なし、
取り扱い	☐ 答申書に掲載する／ ☒ 答申書に掲載しない ☐ 計画書の修正を求める／ ☐ 取り組みを求める／ ☒ 特に何も求めない
文言	
市対応	☐ 済／ ☐ 要／ ☐ 不要
事務局	
主管課	

